

**インマヌエル中目黒キリスト教会**  
**2010年5月23日**  
**聖日礼拝**

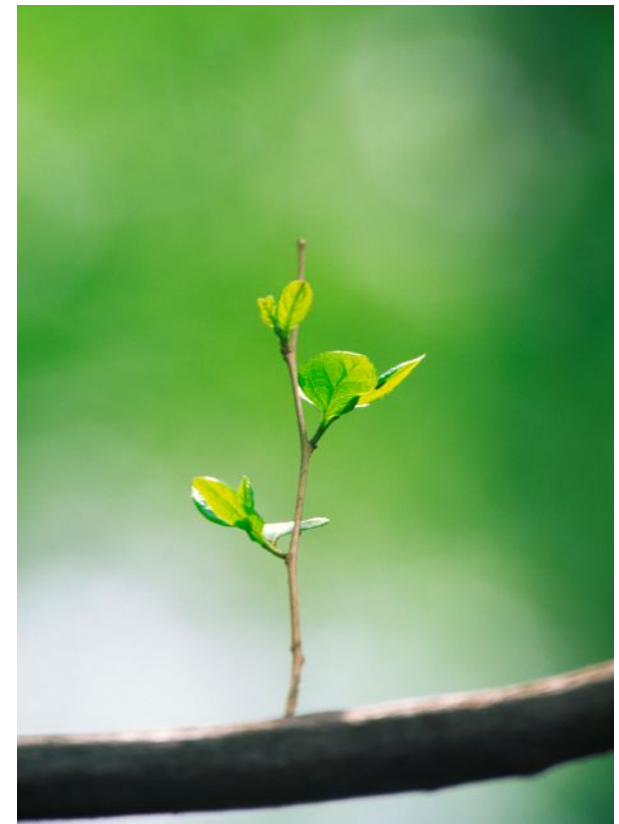
**五旬節に臨み**

**「みなが聖霊に満たされ」**

**民数記11章1-4節、**

**使徒の働き2章1-4節**

**竿代 照夫 牧師**



# 聖書朗読

## 旧約聖書

民数記11章26-29節

## 新約聖書

使徒の働き2章1-4節

## 26 そのとき、

ふたりの者が宿営に残っていた。  
ひとりの名はエルダデ、  
もうひとりの名はメダデで  
あった。

彼らの上にも霊がとどまった。

——彼らは長老として  
登録された者たちであったが、  
天幕へは出て行かなかった。

——彼らは宿営の中で  
恍惚状態で預言した。

27 それで、

ひとりの若者が走って来て、  
モーセに知らせた。

「エルダデとメダデが  
宿営の中で  
恍惚状態で預言しています。」

## 28 若いときから

モーセの従者であった  
ヌンの子ヨシュアも  
答えて言った。

「わが主、モーセよ。  
彼らをやめさせてください。」

29 しかしモーセは彼に言った。

「あなたは私のためを思って  
ねたみを起こしているのか。

主の民がみな、

預言者となればよいのに。

主が彼らの上に

ご自分の霊を与えられると

よいのに。」

# 使徒の働き2章

- 1 五旬節の日になって、  
みなが一つ所に集まっていた。
- 2 すると突然、天から、  
激しい風が吹いてくるような  
響きが起こり、  
彼らのいた家全体に響き渡った。

- 3 また、  
炎のような分かれた舌が現われて、  
ひとりひとりのの上にとどまった。
- 4 すると、みなが聖霊に満たされ、  
御霊が話させてくださるとおりに  
他国のことばで話した。



# 説教

五旬節に臨んで

「みなが聖霊に満たされ」

民数記**11章26-29節**

使徒の働き**2章1-4節**

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「主の民がみな、  
預言者となればよいのに。  
主が彼らの上に  
ご自分の霊を与えられると  
よいのに。」(民数記11:29)

「すると、みなが聖霊に満たされ、  
御霊が話させてくださるとおりに  
他国のことばで話した。」  
(使徒2:4)

# はじめに：暦のペンテコステ

今年のカレンダー

4月4日

5月23日

新約

イースター

ペンテコステ

旧約

過越祭の最終日

7週の祝い

- A. 聖霊の満たしは、モーセの祈り
1. 祈りの背景：  
「はみ出し」長老をどう扱うか
  2. 祈りの内容①：  
万民が預言者になるように
  3. 祈りの内容②：  
万民に聖霊が与えられるように

この祈りと予言は  
パンテコステまで続いた

B.  
聖霊の満たしは  
ペンテコステで実現

1. 弟子達は聖霊に満たされた  
(使徒**2:4、18、4:31、**  
**8:15-17、11:15-16**)

## 2. 聖霊に満たされるとは：

聖霊のご人格が信者の人格を  
所有し、支配し、指導し給うこと

- ・ (人間の側)

完全な明け渡しによって  
自分自身を聖霊の感化に  
委ねること

- ・ (聖霊の側)

そのすべての力、聖さ、愛を  
私たちに注いで、  
神のご性質を私たちに植え込む

## C. 聖霊に満たされる条件

1. 真実な求めと祈り：  
一致、告白、求め・・・の祈り
2. 明け渡しと信仰

終わりに：

聖霊に満たされた

輝く証人になろう